

## 事業提案計画書

事業名：京丹後市をロケーションとした映画『むかえびと』制作による地域振興プロジェクト

1 事業実施者 (事業提案者)	法人名：公益財団法人 京都府丹後文化事業団 代表者：理事長 久保幸司	
2 実施期間 (予定)	令和7年4月 から 令和10年3月 まで	
3 提案事業の概算事業費	(1) 概算事業費	900,000,000円
	(2) 概算事業費のうち補助最低額	900,000,000円
4 事業の内容	<p>京丹後市をメインのロケーションとした、映画『むかえびと』を制作することにより、京丹後市の知名度向上や交流人口の増加など地域資源を生かした地域振興並びに映画制作による地域での文化芸術の振興を推進します。</p> <p><b>【制作映画の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプト： 昭和の初め女性が命を張って子供を産む、出産の神秘と感動を伝える産婆さん（助産師）「むかえびと」を主人公とした映画。</li> <li>・撮影地：京丹後市、京都市</li> <li>・準備・撮影期間：R7.4～（予定）</li> <li>・上映期間：R9.4～（予定）</li> </ul> <p><b>【その他詳細】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作後の宣伝を広く実施し、全国の映画館で上映を実施</li> <li>・京丹後市民をエキストラとして募集・出演を検討</li> <li>・映画館での上映終了後は、テレビ配信による放送予定</li> <li>・京丹後市民を対象とした市民無料試写会の実施を検討</li> <li>・モントリオール世界映画祭など海外の映画祭に出品予定</li> </ul>	
5 事業の実施による公益的な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹後市内の施設、観光地等が、ロケ地として広く知れ渡ることにより、交流人口や観光客の増加等による経済効果が期待できる。</li> <li>・国内観光客にとどまらず、海外の観光客のインバウンドによる観光客の増加が期待できる。</li> <li>・映画制作による地域での文化芸術の振興に資する。</li> </ul>	
6 対象者、人数、規模等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインのロケ地を京丹後市内として撮影</li> <li>撮影予定候補地：琴引浜、神社仏閣、織物工場など</li> <li>・エキストラ人数：50人程度</li> </ul>	
7 スケジュールと内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R6,11～R8.3：企業版ふるさと納税の募集</li> <li>・R7.4～：関係者調整</li> <li>・R8.4～：映画撮影開始（予定）</li> <li>・R9.4～：映画館での上映開始（予定）</li> </ul>	
8 補助最低額で事業を実施する場合の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業提案計画書の内容のとおり</li> </ul>	
9 備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画制作に係る他の企業等から直接協賛金：その収入分の額の補助金を実績報告での返還等、又は、その収入分の広告費等を拡大して事業を実施します。</li> </ul>	



京丹後市

市制20周年記念プロジェクト



「いのち迎える」

～いのち輝く京丹後の未来へ～



京丹後市市制20周年記念プロジェクト



「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～

アカデミー賞外国語映画賞、モントリオール世界映画祭グランプリ、  
日本アカデミー賞作品賞（他9部門最優秀賞）など、  
国内外の映画賞に輝いた作品。興行収入64.5億円。

遺体を清め棺に納める納棺師が  
人生最高の旅立ちをお手伝いするヒューマンドラマ。

映画「おくりびと」

公開から16年



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



「おくりびと」など  
数々の作品を世に送り出した

プロデューサー

北川 淳一 氏が

動く



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



京丹後を

撮影の舞台に



網野の街並みと日本海を見渡せる銚子山古墳



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



# 「おくりびと」の監督 滝田洋二郎氏の 助監督を務めた経歴のある

映画監督

井上 昌典 氏が

描く



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



**産婆** (助産師) の道を  
志した **女性** の  
ストーリー



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



# 出産の



🔊  
**神秘**と



**感動**に

# 包まれる



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



映画



「むかえびと」

制作プロジェクト  
始動



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



## 登壇者紹介



エグゼクティブプロデューサー

**北川 淳一 氏**

きたがわ

じゅんいち

**元 株式会社松竹京都撮影所代表取締役会長で、  
現在は株式会社北川オフィス代表取締役社長。**

**『種まく旅人』や『亡国のイージス』、『自  
虐の詩』、『象の背中』他、『おくりびと』  
など数多くの作品を世に送り出した。**



京丹後市市制20周年記念プロジェクト

「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～



## 登壇者紹介



監督

井上 昌典 氏

いのうえ

まさのり

滝田洋二郎監督ほか、本木克英監督、是枝裕和監督、堤幸彦監督など、日本を代表する映画監督のもとで助監督を務める。2014年公開『忍ジャニ参上！未来への戦い』で映画監督デビュー。『シネマ歌舞伎 女殺油地獄』、『種まく旅人～華蓮のかがやき～』の監督を務めた。



# 「命、息ひとつ」

人は、生まれた瞬間、

初めて息を吸い産声を上げる。

そして、ふう～つと息を吐いて逝く。

まるでこの世で借りた息を、

感謝を込めてお返しするように。

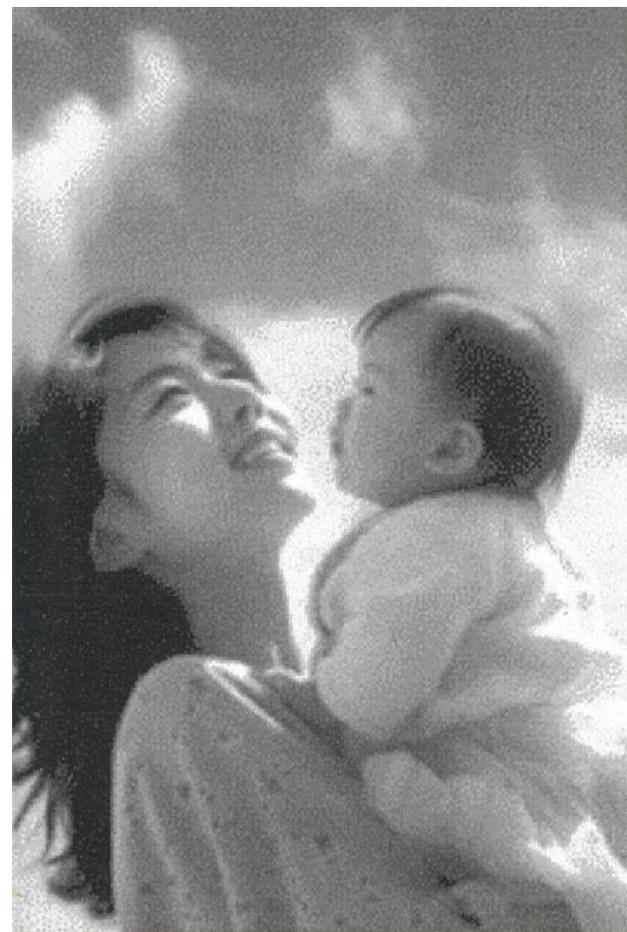


# 「むかえびと」

## ストーリー①

昭和10年代から第二次世界大戦終戦を迎えたころの日本。女性が命を張って子供を産む、出産の神秘と感動を描いた映画。

物語は、主人公キヨが人生に自暴自棄となり、川で入水自殺を図ろうとしたところを地元の住職に助けられることから始まる。そして、キヨはその住職の勧めで産婆になり成長していく。





# 「むかえびと」 ストーリー②

産院に連れてこられたキヨは、産気づいた妊婦に出くわし、産婆のよしの手伝いをすることに。キヨはおろおろするばかり。その時、よしが妊婦の体から、すうっと小さな体を引き出した。

それは正に“命”を迎えた瞬間。キヨはよしの手が神々しく輝いて見え、出産の神秘と感動を覚えた瞬間であった。



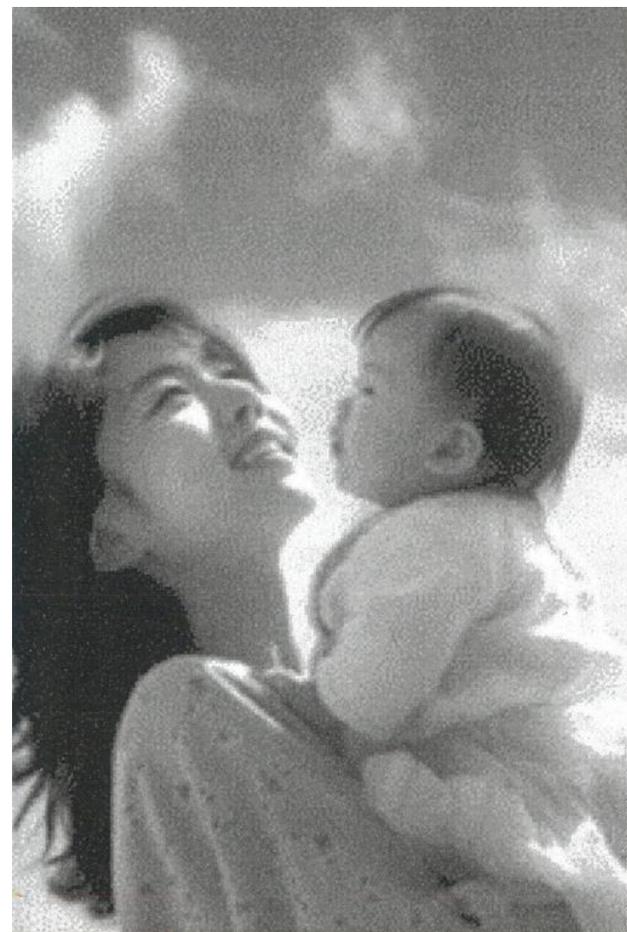


# 「むかえびと」

## ストーリー③

住職はキヨに、わしの仕事は「おくりびと」だが、お前さんは、この世に“命”を迎える「むかえびと」になってみんなか？

こうして、キヨは産婆の道を進むことになる。





## プロジェクト構想（予定）

撮影開始	令和8年4月予定
撮影場所	京丹後市など
上映開始	令和9年4月予定
制作費	5.5億円
宣伝広告費	3.3億円
予算調達	ふるさと納税制度（企業版・個人版）を活用【目標額：9億円】



「いのち迎える」～いのち輝く京丹後の未来へ～

プロジェクト構想（予定）

監督	井上 昌典
脚本	森脇 京子
キャスト	未定
製作	(株)エネット
制作	(株)北川オフィス
制作協力	(株)松竹撮影所、「むかえびと」制作委員会
運営主体	(仮称)映画「むかえびと」制作協力実行委員会 公益財団法人 京都府丹後文化事業団
協力	京丹後市